

# 県北空き家再生プロジェクト

課外活動

地域交流

代表者：工学部都市システム工学科 3年 鎌田 吉紀

## 顧問教員

熊澤 貴之（工学部・准教授）

1年）

・加藤 桃佳（工学部都市システム工学科  
1年）

## 参加者

- ・鎌田 吉紀（工学部都市システム工学科 3年）
- ・草間 裕介（工学部都市システム工学科 3年）
- ・中根 央喜（工学部都市システム工学科 3年）
- ・斎藤 司（工学部都市システム工学科 3年）
- ・長谷川広樹（工学部都市システム工学科 3年）
- ・平野 史也（工学部都市システム工学科 3年）
- ・溝尾 拓馬（工学部都市システム工学科 3年）
- ・有住 竜一（工学部都市システム工学科 3年）
- ・飯塚 柊斗（工学部都市システム工学科 2年）
- ・徳元 秀平（工学部都市システム工学科 2年）
- ・竹内 美玖（工学部都市システム工学科 2年）
- ・工藤みちる（工学部都市システム工学科 2年）
- ・真保 琢海（工学部都市システム工学科 2年）
- ・千田 七海（工学部都市システム工学科

## プロジェクトの概要

当プロジェクトは、茨城県日立市にある空き家を、大学生と地域間の交流を目的とした場所に再生し、地域の空き家問題を解決するモデルケースとすることを目標とするプロジェクトである。

## プロジェクトの成果報告

当初のプランとしては、宿泊者が利用するゲストハウスを考案していた。ゲストハウスの内容としては、交流所を設け、宿泊者と交流所を訪れる人が持ち寄りの本を用いて交流できるような場を提案し、実践しようとした。しかし、運営や金銭面からゲストハウスではなく、安定した家賃収入が得られるシェアハ

空き家チェックリスト NO. \_\_\_\_\_ 作成者 \_\_\_\_\_

何層建てか	階建て
庭があるか	小1-2-3-4-5大
庭があるか	ある ない
空き家の状態	悪1-2-3-4-5良
賃貸家賃～現代賃	借賃家賃 現代賃
入さき（写入くらいはめそうか）	人
庭の状態	悪1-2-3-4-5良
大学からの距離	
バス停の有無	
周辺の静穏度	
感想	

調査シート

ウスにプランを変更し、プロジェクトを進めていった。

まず、大学近辺の空き家に対して実際に足を運び、調査を行った。調査には、調査項目を設定し、それぞれの調査対象をデータ化し、比較検討を重ねながら、対象物件を選定していった。

その結果、シェアハウスとして大学生が住みやすいよう大学近くで、住宅街のため地域交流を図りやすいと思われる空き家を数件選定した。

空き家の選定後は、空き家の持ち主の方と連絡をとりながら、内覧会を行い、それぞれの空き家の状況を確認しながら、実際に改修する空き家を一軒に絞った。

対象物件が決定した後は、空き家の測量調査を行い、敷地や、内部を図面化した。

図面化したのち、模型を製作し、空き家の改修案を1/30スケールで検討した。



改修案模型



制作風景



対象物件模型

改修案は、

- ・学生の住むシェアハウス
- ・工学部の学生が近くに住むことから「ものづくり」をテーマに、学生と地域住民が創作活動を通じて、交流を図る

という2つのテーマで、空き家を地域交流施設にリノベーションする。

※本プロジェクトは、現在進行中で、現在はリノベーションに関する諸条件を整理しながら実施への準備を着々と進めている。ただ、現在計画中、進行中のプロジェクトであるため、公開できない内容があるため、諸要素をぼかして記載しているため、ご了承ください。